

首里城再興研究プロジェクト Q&A

赤字は更新部分です (5月26日)

Q1：首里城再興学術ネットワークとはどのようなものか

A： 「首里城再興学術ネットワーク (仮称)」のあり方については、2020年1月に学長からの諮問を受け、研究・企画担当理事が検討を進めています。

答申案では、①組織の枠を超え首里城再興に学術面から貢献するプラットフォームとすること、②首里城再興に貢献する研究・教育を振興すること、③ワークショップ・シンポジウムを重ねることでネットワークを拡充すること、を基本方針としており、会員制をとらず、学際的かつ関係者との交流・連携を促進し、学術面から首里城の再興に貢献するネットワークを目指しています。

答申は5月中に行い公表する予定です。

→ 首里城再興学術ネットワーク (準備室) のホームページにて公表されています。

http://www.res.lab.u-ryukyu.ac.jp/about_shurijo_net.html

Q2：どんな分野が対象になるか

A： 首里城再興に向けた課題は多岐にわたっていると考えられます。例えば、沖縄県の「首里城復興の基本的考え方」においては、首里城の復元はもとより首里城に象徴される琉球の歴史・文化の復興に取り組むとし、観光、施設利用、文化財の保全・復元・収集、伝統技術、まちづくり、歴史、文化、教育などが掲げられています。

公募要領では、「首里城の再興に資する研究を推進することを目的とし、応募対象は、首里城の再興とどのように関連するのかを明確に提示する研究とする。」としていますが、「首里城 (という建物) の再建」に限定するものではなく、多様な分野・視点からの応募を期待しております。

Q3：予算額 300 万円で何件採択予定か

A： 公募要領では1件当たりの限度額は定めていませんが、首里城再興学術ネットワーク (仮称) では多様な分野の研究の振興を目指していることから、3件程度を想定しています。

Q4：応募締め切りが延長されることはないか

A： 4月17日時点での本学の新型コロナウイルス感染対策については、「球大学新型コロナウイルス感染症拡大防止の活動制限指針について (通知) (学内総第11号、令和2年4月13日付)」で示されている「活動制限指針 (令和2年4月10日版)」のレベル1での活動制限をお願いしていますので、レベルの変更がない場合は当初の締め切り (5月22日) での公募となります。→ 6月1日 (17時) に変更になりました。

Q5：研究プロジェクトは単年度事業か

A： 公募要領では、研究期間を令和3年3月31日までと定めていることから、単年度事業となります。

Q6：学外者も含めたチームで応募してもよいか

A： 首里城再興学術ネットワーク（仮称）では、組織の枠を超え首里城再興に学術面から貢献することを目指しており、他大学や学外組織と連携した提案も可能です。

ただし、分担金として学外に支出することはできません

Q7：事務職員や技術補佐員は応募できるか

A： 公募要領では申請資格者を本学の教員としているので、教員と事務職員や技術補佐員がチームを組んだ申請は可能です。

Q8：どのような経費が対象になるか

A： 公募要領の実施計画書（別紙様式1）、「令和2年度研究経費内訳」を参照に予算書を作成してください。例示されている費目に該当しない経費については、研究推進課・研究推進係との調整をお願いします。

Q9：コロナの影響で当分の間、島外出張や会議が困難な状況にあるが、国内外への調査出張やワークショップを行う研究提案は応募可能か

A： 島外への出張自粛がいつまで続くのか不透明な中、国内外への出張やワークショップを伴う調査研究は計画を立てにくい状況にあると思慮します。

しかしながら、このような調査手法の提案を対象外とするものではないので、調査出張と併せ他の代替案も組み合わせてご提案ください。

Q10：コロナの影響が長引いた場合、研究期間の延長は可能か（繰り越しについて）

A： 新型コロナウイルス感染症への対応がいつまで続くのか不透明な中、研究活動に関しても少なからず影響がでることが予想されます。

現時点で繰り越しを前提とした計画で進めることはできませんが、今後の新型コロナウイルス感染症対策の推移により計画の進捗に重大な影響が生じた場合は、その時点で研究担当者と研究推進課で協議し判断されることになると考えます。

Q11：中間報告会はどのようなものを想定しているのか

A： 本年年末に、一般の方々にも公開する「首里城再興学術シンポジウム」を予定しており、そこでの発表をお願いしたいと考えております。

内容、持ち方については、採択された研究者と協議しながら検討したいと考えております。

Q12：報告書は学外公表されるのか

A： 採択された研究プロジェクトは、首里城再興に資する多様な研究活動を振興する先行事例として広く紹介したいと考えております。

インタビュー記事等をポータルサイトで紹介することも想定していますのでご協力をお願いいたします。

Q13：「様式1」の枠は、文章量に応じて自由に拡大しても宜しいでしょうか。

A： 文章量に応じ、適宜拡大して差支えございません。

Q14：首里城再興研究プロジェクト公募要領の申請要件に「別途案内する事前説明会に参加すること」とありますが、こちらの案内は既に行われているのでしょうか。

A： 新型コロナウイルス感染拡大防止のための本学の活動制限のため説明会は中止になっております。

首里城再興学術ネットワークの HP に随時参考情報をアップするとともに、説明会の代わりとなる参考情報などについて、追って全学に通知する予定としております。

HP：http://www.res.lab.u-ryukyu.ac.jp/shuri_top.html

答申：http://www.res.lab.u-ryukyu.ac.jp/about_shurijo_net.html

インタビュー記事（沖縄県知事公室特命推進課）：

<http://www.res.lab.u-ryukyu.ac.jp/interview01.html>

Q15：過去の外部資金獲得実績及び研究業績の参考資料について

7.審査基準と選考（5）事業遂行能力（過去の外部資金獲得実績や研究業績等）

- ①実績等については、研究成果と首里城再興との関連性があるものが対象でしょうか。
- ②グループで応募する場合は、全員の実績等の提出が必要でしょうか。
- ③実績等については何年分が対象でしょうか。

A： 実施計画書に参考資料として添付する「過去の外部資金獲得実績及び研究実績」については、特に首里城関連分野に限るものではなく、2017年～2020年の外部資金獲得実績及び研究実績を記載してください。

また、グループで提出する場合は、全員分の提出をお願いします。